

[中吐]FOLFIRI+サイラムザ(ラムシルマブ)療法

外科 管理番号
 処方医:
 適応症:大腸癌
 2週間を1クールとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
サイラムザ	●													
レボホリナート	●													
イリノテカン	●													
フルオウラシル(ホーラス)	●													
フルオウラシル(持続)	●	●	●											

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²
 [投与スケジュール] (_____ クール目)
 Day1(月 日 ~ 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポート開通確認	10mL		
【内服】ポララミン錠2mg	3錠		
生食100mL 【本管 キープ用】	1瓶	生食100mL デキサート注 【30分 点滴静注】	1瓶 6. 6mg
		生食250mL サイラムザ 8mg/kg 【60分 点滴静注】 [非炎症性] 生食で希釈し最終投与量を250mLとする インフュージョンリアクション注意 特に1~2回目 タンパク質透過型フィルター(0. 2または0. 22ミクロン)使用	全量250mL
		生食50mL 【プライミング用】	1瓶
グラセトロン点滴静注用バッグ3mg デキサート 【30分 点滴静注】	1袋 3. 3mg		
生食500mL レボホリナート 200mg/m ² 【2時間 点滴静注】	1瓶	生食500mL イリノテカン 150mg/m ² 【90分 点滴静注】 [炎症性] レボホリナートの側管より同時に開始	1袋
生食50mL フルオウラシル注 400mg/m ² 【15分間】 [炎症性]	1瓶	←投与5分前からクライオセブ-30分間	
生食100mL フルオウラシル注2400mg/m ² 【46時間】 [炎症性]	フルオウラシルと生食適量を 混合し140mLとする		
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポートフラッシュ	10mL		

DAY2(月 日)~3(月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

[適正使用基準] サイラムザ

1. 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん(大腸がん)と診断されていること
2. 血栓塞栓がない
3. 消化管穿孔/消化管の慢性疾患がない
4. PS(Performance Status)が0~1である
5. 出血性素因が無い
6. 未治癒の術創/手術の予定がない
7. コントロール不良な高血圧がない

[DLF] フルオウラシル:
白血球減少・口内炎および
下痢

[DLF] イリノテカン
白血球及び下痢(水様便)
イリノテカンの投与量
[今回の投与量]

mg/body

[累積投与量]

mg/body

[適正使用基準]

*1. 口内炎がない	
*2. 下痢がない	
3. TS-1が投与されていないかまたは投与中止後7日以上経っている	
*4. 重症感染症またはその疑いがない	
*5. 腸管麻痺・腸閉塞がない	
*6. 間質性肺炎または肺線維症がない	
*7. 多量の腹水・胸水がない	
*8. 黄疸がない	
*9. 硫酸アタザナビルを投与されていない	
10. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	
*WBC	4000 ≤
Neut	1600 ≤
PLT	15万 ≤
HGB	11.0 ≤
GOT	≤40
GPT	≤35
TBil	≤1.2
BUN	≤20
Cr	≤1.1
Mg	1.7-2.5
K	3.5-5.0
Na	135-146
Ca	8.7-11
P	2.5-4.7
蛋白尿	1+以下

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil(mg/dL)	<5.0	5.0 ≤
フルオウラシル	100%	中止

[FOLFIRI療法における減量基準]

		フルオウラシル	イリノテカン
G2以上	好中球減少	—	180mg/m ² →150mg/m ²
G2以上	血小板減少		
G2以上	下痢		
G3以上	すべての毒性	2400mg/m ² →2000mg/m ²	—

[DLF以外の重大な副作用]

フルオウラシル

- ・脱水症状 [激しい下痢等]
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎 [激しい腹痛・下痢等]
- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等]
- ・白質脳症 [歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等]
- ・うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 [疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等]
- ・急性腎不全 [むくみ・尿量低下等]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全 [食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等]
- ・消化管潰瘍 [食欲不振・腹痛・吐血・下血等]
- ・急性膵炎 [腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等]
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) * 肝動脈内投与時 [腹痛・発熱・黄疸等]

- ・手足症候群〔手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等〕
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)

イリノテカン

- ・腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞〔腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔呼吸困難・血圧低下等〕
- ・肝機能障害、黄疸〔食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・肺塞栓症、静脈血栓症〔呼吸困難・チアノーゼ等〕
- ・心筋梗塞、狭心症発作〔胸痛・呼吸困難等〕
- ・心室性期外収縮〔脈の乱れ・心電図異常等〕

サイラムザ

- ・動脈血栓塞栓症
- ・静脈血栓塞栓症
- ・インフュージョンリアクション
- ・消化管穿孔、出血
- ・好中球減少症／白血球減少症
- ・創傷治癒障害
- ・可逆性後白質脳症症候群
- ・高血圧
- ・蛋白尿